

# 平成30（2018）年度市町村公営企業決算の状況について

栃木県総合政策部市町村課

## 1 事業数（第1表・第1図）

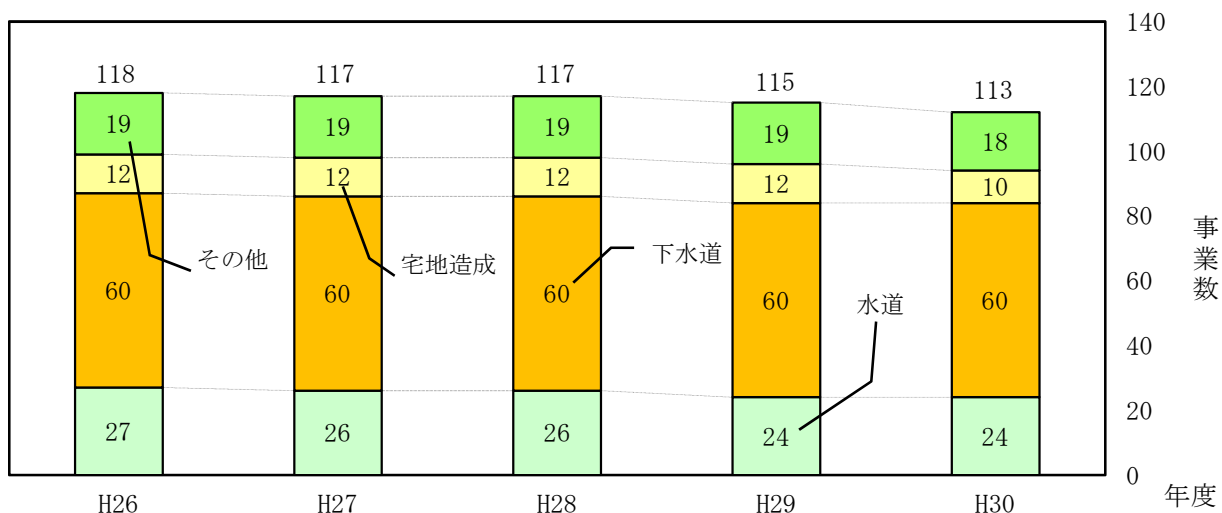
平成30年度における市町村等の地方公営企業数は、法適用企業は前年度から5事業増で36事業、法非適用企業は前年度から8事業減の76業で合計112業である。市町村合併等により、過去のピークであった平成14年度の189事業に比べ77事業（▲40.7%）減少した。

なお、事業数の75.0%は上下水道事業が占めている。

第1表 地方公営企業の事業数

項目	H26	H27	H28	H29(A)	構成比	H30(B)	構成比	B-A
	法適用							
上水道	23	23	23	23	20.0	23	20.5	—
工業用水道	2	2	2	2	1.7	2	1.8	—
病院	3	3	3	3	2.6	3	2.7	—
下水道	2	2	2	2	1.7	7	6.3	5
市場	1	1	1	1	0.9	1	0.9	—
小計	31	31	31	31	27.0	36	32.1	5
法非適用								
簡易水道	4	3	3	1	0.9	1	0.9	—
下水道	58	58	58	58	50.4	53	47.3	▲5
市場	6	6	6	6	5.2	5	4.5	▲1
と畜場	1	1	1	1	0.9	1	0.9	—
観光施設	3	3	3	3	2.6	3	2.7	—
宅地造成	12	12	12	12	10.4	10	8.9	▲2
駐車場	1	1	1	1	0.9	1	0.9	—
介護サービス	1	1	1	1	0.9	1	0.9	—
電気	1	1	1	1	0.9	1	0.9	—
小計	87	86	86	84	73.0	76	67.9	▲8
合計	118	117	117	115	100.0	112	100.0	▲3

第1図 事業数の推移



(注) 水道は、上水道及び簡易水道の計、下水道は、法適用及び法非適用の計である。

## 2 職員数（第2表・第2図）

平成30年度末において公営企業に従事する職員数は、1,041人であり、前年度末に比べ15人減少した。

なお、平成31年4月1日現在の公営企業に従事する職員数は、市町村・一部事務組合の全体の職員数16,162人の6.4%に相当する。

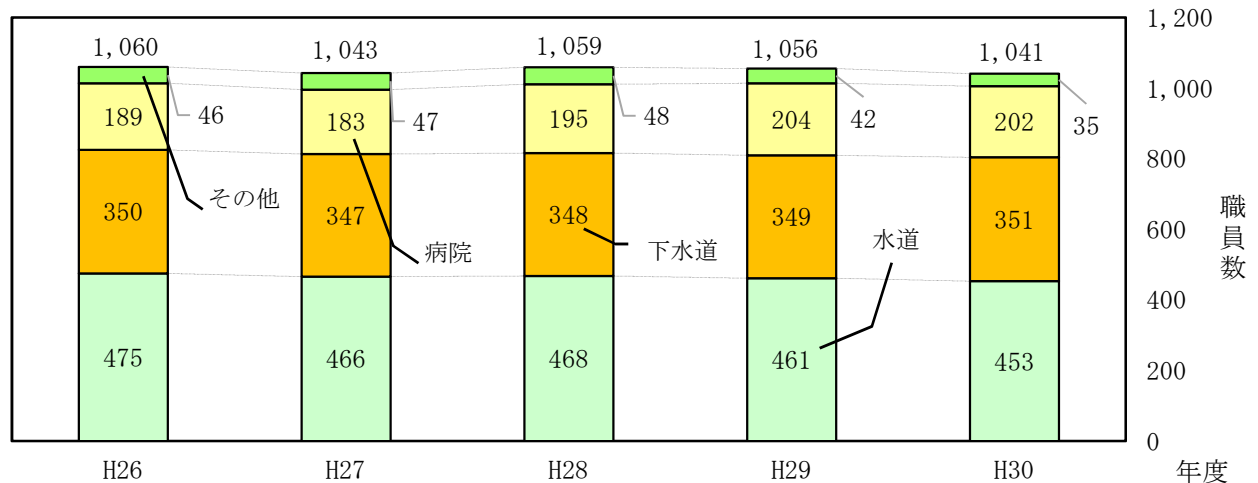
第2表 地方公営企業の職員数

(単位：人、%)

項目		H26	H27	H28	H29(A)	構成比	H30(B)	構成比	B-A
法適用	上水道	469	460	462	460	43.6	452	43.4	▲ 8
	工業用水道	3	3	2	2	0.2	2	0.2	—
	病院	189	183	195	204	19.3	202	19.4	▲ 2
	下水道	91	93	90	90	8.5	119	11.4	29
	市場	15	15	15	15	1.4	15	1.4	—
	小計	767	754	764	771	73.0	790	75.9	19
法非適用	簡易水道	6	6	6	1	0.1	1	0.1	—
	下水道	259	254	258	259	24.5	232	22.3	▲ 27
	市場	3	4	8	4	0.4	—	—	▲ 4
	と畜場	2	2	2	2	0.2	2	0.2	—
	観光施設	4	4	4	4	0.4	4	0.4	—
	宅地造成	18	18	16	14	1.3	11	1.1	▲ 3
	駐車場	—	—	—	—	—	—	—	—
	介護サービス	1	1	1	1	0.1	1	0.1	—
	電気	—	—	—	—	—	—	—	—
小計	293	289	295	285	27.0	251	24.1	▲ 34	
合計	1,060	1,043	1,059	1,056	100.0	1,041	100.0	▲ 15	

(注) 各年度の職員数は年度末の数値である。

第2図 事業別職員数の推移



(注) 水道は上水道及び簡易水道の計、下水道は法適用及び法非適用の計である。

### 3 決算規模（第3表・第3図・第4図）

平成30年度の市町村等公営企業全体の決算規模は、1,070億82百万円で、前年度に比べ45億96百万円（▲4.1%）減少した。この主な要因は、宅地造成事業（法非適用）等の企業債償還金の減少に伴う資本的支出の減によるものである。

全事業のうちで決算規模が最も大きいのは、法非適用下水道事業400億32百万円（全体の37.4%）、次いで上水道事業392億51百万円（同36.7%）であり、法適用下水道事業207億99百万円（同19.4%）、病院事業31億47百万円（同2.9%）、宅地造成事業23億00百万円（同2.1%）となっている。

なお、公営企業全体の決算規模は、過去のピークであった平成10年度（1,811億23百万円）の59.1%の水準まで低下し、平成30年度市町村等普通会計歳出決算規模8,267億20百万円（一部事務組合の決算額を含む）の13.0%に相当している。

第3表 地方公営企業の決算規模の推移

（単位：百万円、%）

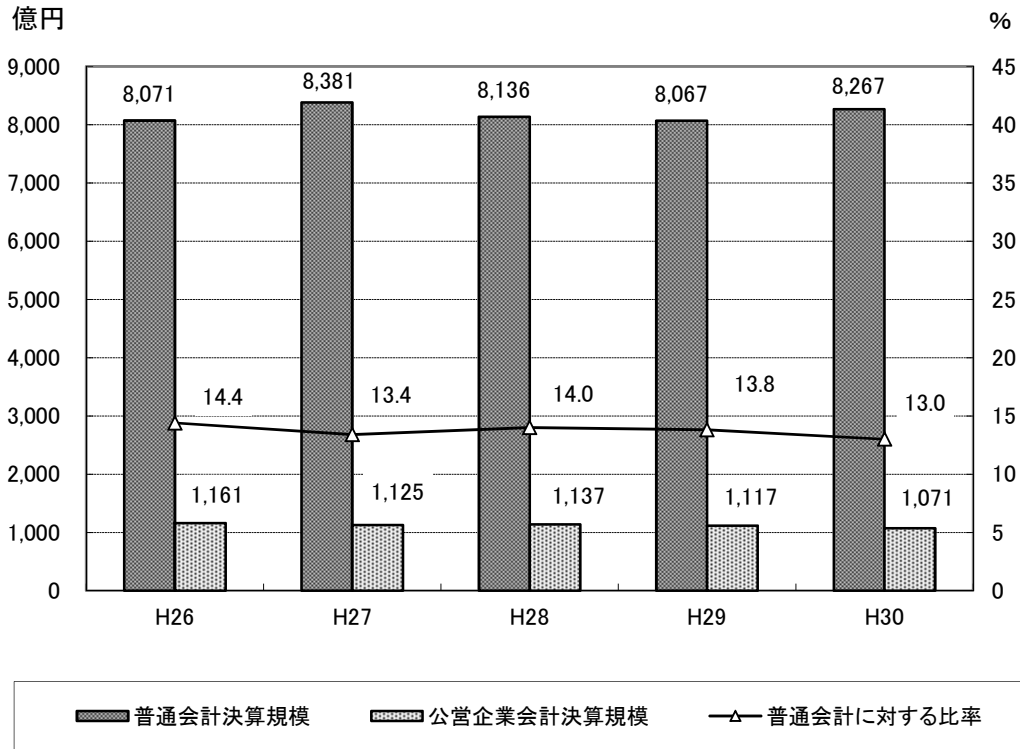
項目	決算規模					対前年度増減率				伸長指数(H26=100)				
	H26	H27	H28	H29	H30	H27	H28	H29	H30	H27	H28	H29	H30	
法適用	上水道	40,885	41,313	37,753	40,514	39,251	1.0	▲8.6	7.3	▲3.1	101	92	99	96
	工業用水道	180	168	144	177	169	▲7.0	▲14.3	23.1	▲4.3	93	80	98	94
	病院	3,965	3,854	3,874	3,830	3,147	▲2.8	0.5	▲1.1	▲17.8	97	98	97	79
	下水道	14,352	15,073	13,829	14,259	20,799	5.0	▲8.3	3.1	45.9	105	96	99	145
	市場	612	693	641	596	603	13.1	▲7.5	▲7.0	1.1	113	105	97	98
	小計	59,996	61,100	56,242	59,376	63,968	1.8	▲8.0	5.6	7.7	102	94	99	107
法非適用	簡易水道	631	562	586	108	77	▲10.9	4.3	▲81.6	▲28.4	89	93	17	12
	下水道	50,140	46,869	47,122	45,515	40,032	▲6.5	0.5	▲3.4	▲12.0	93	94	91	80
	市場	809	802	754	330	92	▲0.9	▲6.0	▲56.3	▲72.1	99	93	41	11
	と畜場	87	77	74	72	76	▲11.3	▲4.1	▲2.0	5.5	89	85	83	88
	観光施設	259	229	260	271	302	▲11.4	13.4	4.2	11.6	89	100	105	117
	宅地造成	3,948	2,642	8,404	5,759	2,300	▲33.1	218.1	▲31.5	▲60.1	67	213	146	58
	駐車場	142	144	144	142	142	1.4	▲0.2	▲1.0	▲0.4	101	101	100	100
	介護サービス	52	65	51	50	37	25.7	▲21.3	▲3.4	▲25.8	126	99	96	71
	電気	50	58	57	55	56	15.1	▲0.1	▲4.1	1.4	115	115	110	112
	小計	56,118	51,448	57,452	52,302	43,113	▲8.3	11.7	▲9.0	▲17.6	92	102	93	77
合計	116,114	112,548	113,694	111,678	107,082	▲3.1	1.0	▲1.8	▲4.1	97	98	96	92	

（注）決算規模の算出方法は次のとおり。

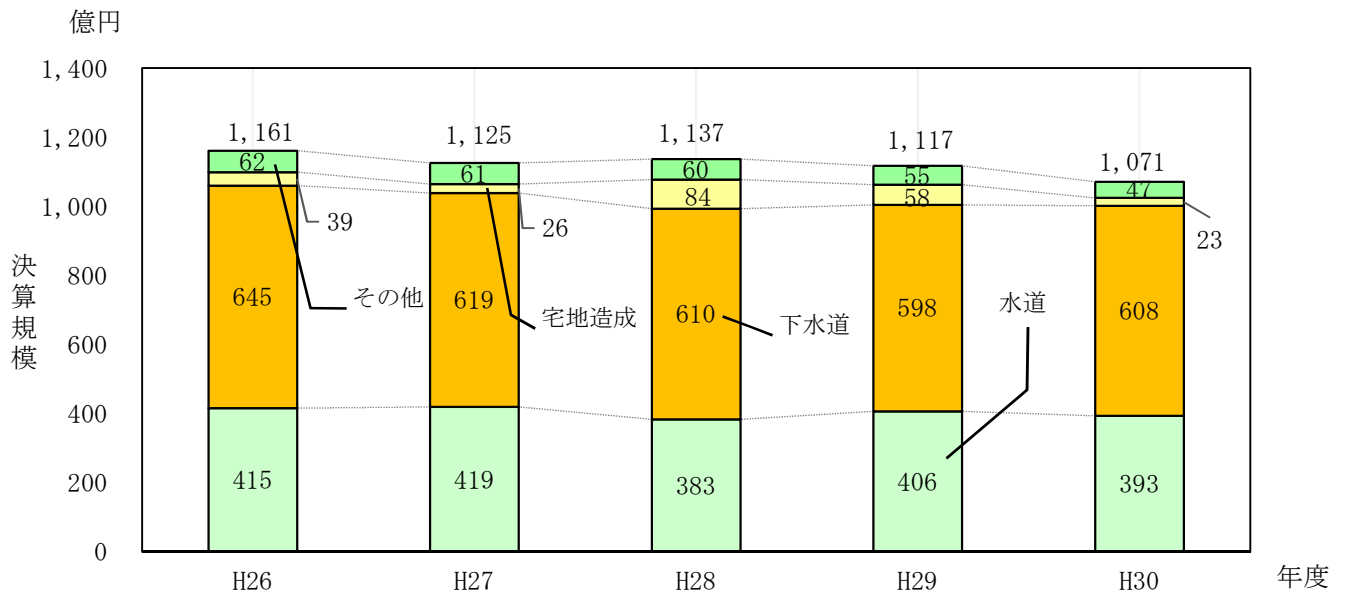
法適用企業：総費用－減価償却費＋資本的支出（建設改良費や企業債償還金等の支出）

法非適用企業：総費用＋資本的支出＋積立金＋繰上充用金

第3図 普通会計と公営企業会計の決算規模の比較



第4図 決算規模の推移



## 4 建設投資額（第4表・第5図）

平成30年度の建設投資額は291億48百万円で、前年度に比べ4億06百万円（1.6%）減少した。この減少のうち主なものは、上水道事業（▲11億13百万円）である。建設投資額が最も大きい事業は、上水道事業128億62百万円（全体の44.1%）、次いで、法非適用下水道事業91億31百万円（同31.3%）、法適用下水道事業54億01百万円（同18.5%）となっている。

公営企業の建設投資額は、過去のピークであった平成7年度（997億01百万円）に比べ29.2%の水準まで低下している。特に建設投資額全体の49.8%を占める下水道事業は、過去のピークであった平成8年度（667億94百万円）の21.8%の水準まで低下している。

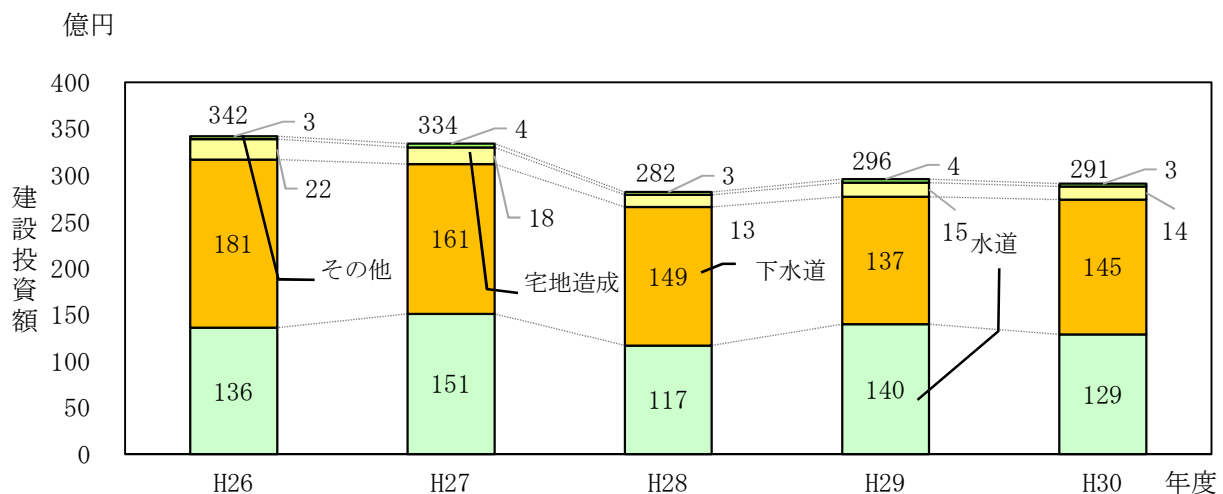
第4表 地方公営企業の建設投資額の推移

（単位：百万円、%）

項目	建設投資額					対前年度増加率				伸長指数 (H26=100)				
	H26	H27	H28	H29	H30	H27	H28	H29	H30	H27	H28	H29	H30	
法適用	上水道	13,404	14,926	11,569	13,975	12,862	11.4	▲22.5	20.8	▲8.0	111	86	104	96
	工業用水道	39	20	26	55	41	▲48.7	30.0	110.2	▲25.2	51	67	140	105
	病院	255	292	222	231	173	14.3	▲23.8	4.0	▲25.1	114	87	91	68
	下水道	1,934	3,793	2,474	3,051	5,401	96.1	▲34.8	23.3	77.0	196	128	158	279
	市場	29	10	11	17	20	▲65.0	12.0	54.9	12.4	35	39	61	68
	小計	15,661	19,041	14,303	17,329	18,496	21.6	▲24.9	21.2	6.7	122	91	111	118
法非適用	簡易水道	186	126	154	6	4	▲32.2	21.9	▲96.2	▲27.0	68	83	3	2
	下水道	16,128	12,258	12,408	10,681	9,131	▲24.0	1.2	▲13.9	▲14.5	76	77	66	57
	市場	—	—	—	2	29	—	—	皆増	1,715.3	—	—	—	—
	と畜場	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	観光施設	7	12	11	9	17	66.8	▲6.1	▲19.3	90.2	167	157	126	240
	宅地造成	2,203	1,819	1,318	1,520	1,446	▲17.4	▲27.6	15.4	▲4.9	83	60	69	66
	駐車場	1	1	1	6	25	▲10.4	47.4	355.5	346.1	90	132	601	2,682
	介護サービス	5	18	5	2	—	255.8	▲74.7	▲53.1	皆減	356	90	42.0	—
	電気	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
小計	18,531	14,234	13,896	12,225	10,652	▲23.2	▲2.4	▲12.0	▲12.9	77	75	66	57	
合計	34,192	33,274	28,199	29,554	29,148	▲2.7	▲15.3	4.8	▲1.4	97	82	86	85	

（注）建設投資額とは、資本的支出の建設改良費である。

第5図 建設投資額の推移



（注）水道は上水道及び簡易水道の計、下水道は法適用及び法非適用の計である。

## 5 企業債（第5表、第6図、第6表、第7図、第7表、第8図）

### 1 企業債発行額

平成30年度の企業債発行額は141億04百万円で、前年度に比べ6億25百万円（4.6%）増加した。この主な要因は、建設改良費の増加である。

企業債発行額の大きな事業は、法非適用下水道事業73億47千万円（全体の52.1%）、次いで上水道事業31億92百万円（同22.6%）、法適用下水道事業25億43百万円（同18.0%）となっている。

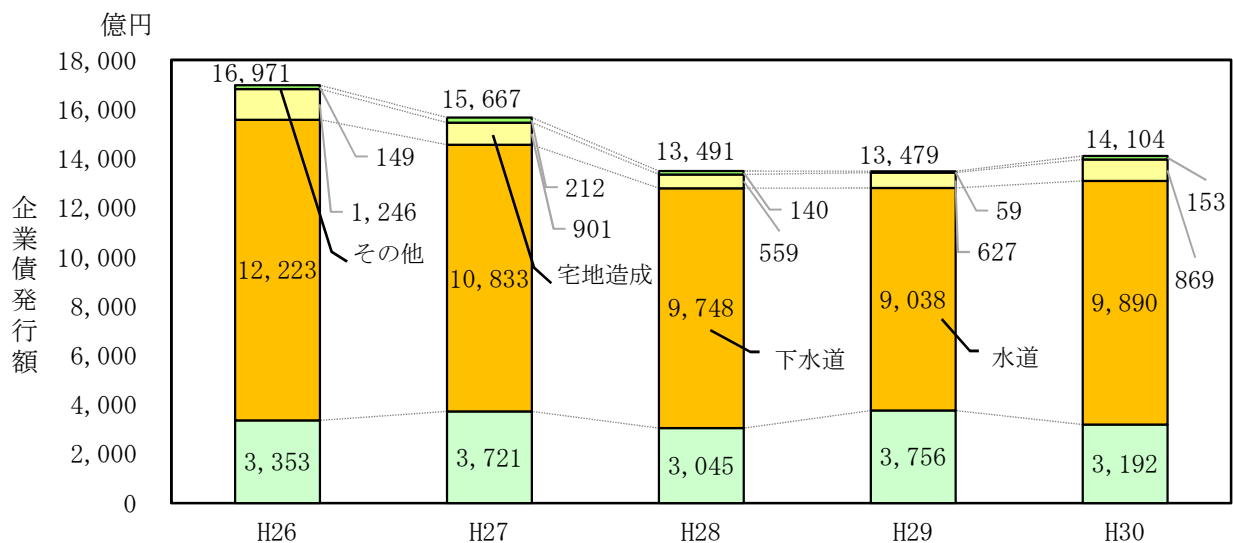
第5表 地方公営企業の企業債発行額の推移

（単位：百万円、%）

項目	企業債発行額					対前年度増減				伸長指数 (H26=100)			
	H26	H27	H28	H29	H30	H27	H28	H29	H30	H27	H28	H29	H30
法適用													
上水道	3,279	3,672	2,954	3,756	3,192	12.0	▲ 19.6	27.2	▲ 15.0	112	90	115	97
工業用水道	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
病院	149	212	140	59	125	41.8	▲ 34.0	▲ 58.1	113.3	142	94	39	84
下水道	713	2,425	1,129	1,192	2,543	240.1	▲ 53.4	5.5	113.4	340	158	167	357
市場	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
小計	4,142	6,309	4,222	5,006	5,859	52.3	▲ 33.1	18.6	17.0	152	102	121	141
法非適用													
簡易水道	74	49	91	0	0	▲ 34.0	87.0	皆減	—	66	123	0	0
下水道	11,510	8,408	8,620	7,847	7,347	▲ 26.9	2.5	▲ 9.0	▲ 6.4	73	75	68	64
市場	—	—	—	—	28	—	—	—	皆増	—	—	—	—
と畜場	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
観光施設	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
宅地造成	1,246	901	559	627	869	▲ 27.7	▲ 38.0	12.2	38.8	72	45	50	70
駐車場	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
介護サービス	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
電気	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
小計	12,830	9,358	9,269	8,473	8,245	▲ 27.1	▲ 1.0	▲ 8.6	▲ 2.7	73	72	66	64
合計	16,971	15,667	13,491	13,479	14,104	▲ 7.7	▲ 13.9	▲ 0.1	4.6	92	79	79	83

（注）企業債＝地方債

第6図 企業債発行額の推移



（注）水道は上水道及び簡易水道の計、下水道は法適用及び法非適用の計である。

## 2 企業債元利償還額

平成30年度の企業債元利償還額は425億32百万円で、前年度に比べ33億29百万円（7.3%）減少した。

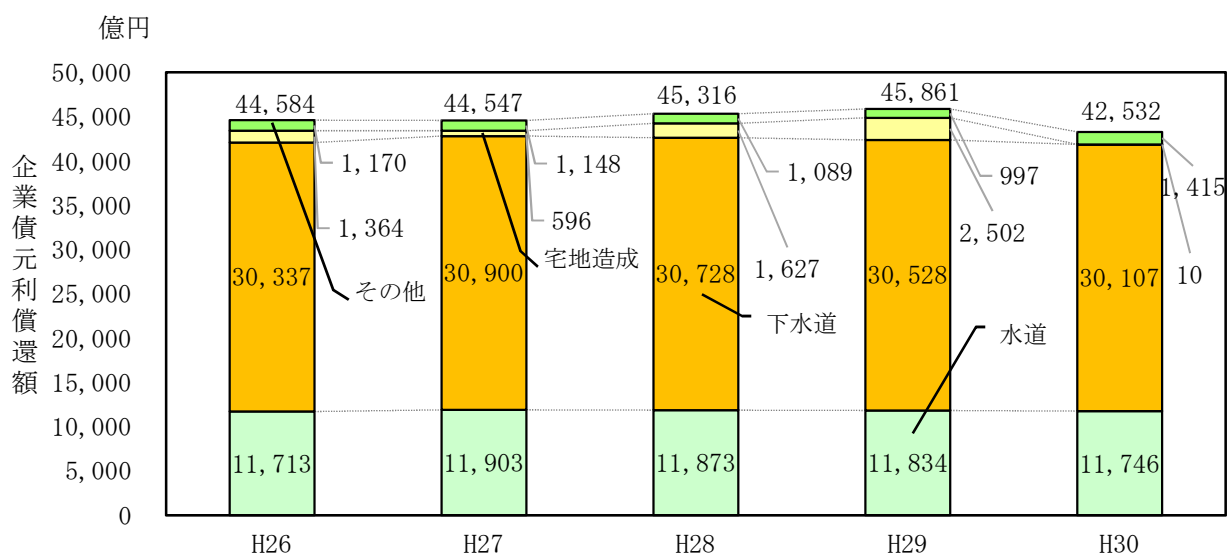
企業債元利償還額の大きな事業は下水道事業で、法適用及び法非適用の合計は301億08百万円（全体の70.8%）、次いで上水道事業117億12百万円（同27.5%）がこれに続き、これに簡易水道事業を加えた上下水道関係事業の償還額の合計は418億54百万円となり、公営企業全体の98.4%になる。

第6表 地方公営企業の企業債元利償還額の推移

（単位：百万円、%）

項目	企業債元利償還額					対前年度増減				伸長指数 (H26=100)				
	H26	H27	H28	H29	H30	H27	H28	H29	H30	H27	H28	H29	H30	
法適用	上水道	11,467	11,656	11,636	11,787	11,712	1.6	▲0.2	1.3	▲0.6	102	101	103	102
	工業用水道	41	41	39	36	36	-	▲4.1	▲7.8	-	100	96	88	88
	病院	584	568	510	455	433	▲2.8	▲10.2	▲10.9	▲4.8	97	87	78	74
	下水道	7,256	7,174	7,043	6,881	9,480	▲1.1	▲1.8	▲2.3	37.8	99	97	95	131
	市場	118	118	118	118	118	-	-	-	-	100	100	100	100
	小計	19,466	19,555	19,345	19,276	21,778	0.5	▲1.1	▲0.4	13.0	100	99	99	112
法非適用	簡易水道	245	247	237	47	34	0.8	▲4.2	▲80.4	▲27.9	101	97	19	14
	下水道	23,081	23,727	23,685	23,647	20,628	2.8	▲0.2	▲0.2	▲12.8	103	103	102	89
	市場	372	366	366	333	26	▲1.6	-	▲9.1	▲92.0	98	98	89	7
	と畜場	12	12	12	12	12	-	-	-	-	100	100	100	100
	観光施設	7	7	7	7	7	9.5	▲0.4	▲0.4	▲0.4	110	109	109	108
	宅地造成	1,364	596	1,627	2,502	10	▲56.3	173.1	53.8	▲99.6	44	119	183	1
	駐車場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	介護サービス	37	37	37	37	37	-	-	-	-	100	100	100	100
	電気	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	小計	25,118	24,992	25,971	26,584	20,753	▲0.5	3.9	2.4	▲21.9	100	103	106	83
合計	44,584	44,547	45,316	45,861	42,532	▲0.1	1.7	1.2	▲7.3	100	102	103	95	

第7図 企業債元利償還額の推移



（注）水道は上水道及び簡易水道の計、下水道は法適用及び法非適用の計である。

### 3 企業債現在高

平成30年度末の企業債現在高は4,100億76百万円で、前年度に比べ201億46百万円（▲4.7%）減少した。また、企業債現在高は、公営企業決算規模1,070億82百万円の約3.8倍になっており、決算規模が普通会計歳出決算規模（8,267億20百万円）の13.0%であるのに対し、普通会計地方債現在高（6,262億37百万円）の65.5%の水準に達している。

なお、企業債現在高と普通会計地方債現在高を合わせると、1兆363億13百万円になる。

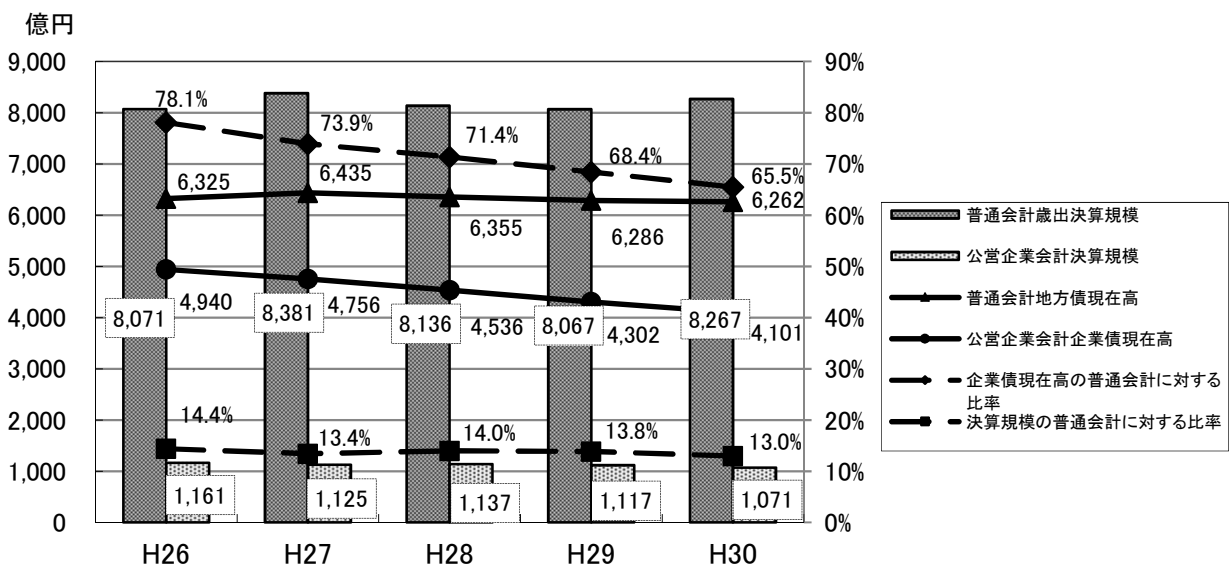
第7表 地方公営企業の企業債現在高の推移

(単位：百万円、%)

項目	企業債現在高					対前年度増減率				伸長指数(H26=100)				
	H26	H27	H28	H29	H30	H27	H28	H29	H30	H27	H28	H29	H30	
法適用	上水道	134,940	129,992	124,125	120,635	114,526	▲3.7	▲4.5	▲2.8	▲5.1	96	92	89	85
	工業用水道	262	226	190	157	123	▲14.0	▲15.8	▲17.6	▲21.7	86	72	60	47
	病院	3,387	2,996	2,703	2,376	2,130	▲11.5	▲9.8	▲12.1	▲10.3	88	80	70	63
	下水道	69,325	66,211	61,803	57,489	84,357	▲4.5	▲6.7	▲7.0	46.7	96	89	83	122
	市場	569	470	369	263	154	▲17.2	▲21.6	▲28.6	▲41.5	83	65	46	27
	小計	208,484	199,894	189,190	180,920	201,290	▲4.1	▲5.4	▲4.4	11.3	96	91	87	97
法非適用	簡易水道	2,352	2,202	2,100	149	119	▲6.4	▲4.6	▲92.9	▲20.2	94	89	6	5
	下水道	278,534	268,942	259,279	248,334	207,038	▲3.4	▲3.6	▲4.2	▲16.6	97	93	89	74
	市場	1,021	696	356	27	30	▲31.9	▲48.8	▲92.3	8.6	68	35	3	3
	と畜場	46	35	23	12	-	▲24.4	▲32.8	▲49.6	皆減	76	51	26	-
	観光施設	121	114	107	100	93	▲5.7	▲6.0	▲6.4	▲6.9	94	89	83	77
	宅地造成	3,270	3,581	2,516	645	1,506	9.5	▲29.7	▲74.4	133.6	110	77	20	46
	駐車場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	介護サービス	133	102	70	36	-	▲23.2	▲31.7	▲48.8	皆減	77	52	27	-
	電気	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	小計	285,475	275,671	264,451	249,303	208,786	▲3.4	▲4.1	▲5.7	▲16.3	97	93	87	73
合計	493,959	475,565	453,641	430,222	410,076	▲3.7	▲4.6	▲5.2	▲4.7	96	92	87	83	

(注) 企業債＝地方債

第8図 企業債現在高及び決算規模の推移



(注) 普通会計歳出決算規模及び普通会計地方債現在高は一部事務組合を含む。  
水道は上水道及び簡易水道の計、下水道は法適用及び法非適用の計である。



## 6 他会計繰入金（第8表・第9表・第9図）

平成30年度の地方公営企業に対する他会計からの繰入金は274億40百万円で、前年度に比べ14億45百万円（▲5.0%）減少した。このうち、国の示す「平成30年度の地方公営企業繰出金について」に基づき一般会計が負担した額（基準内繰入金）は208億32百万円（全体の75.9%）であるのに対し、繰出基準に基づかない繰入金（基準外繰入金）は66億08百万円（同24.1%）で、この基準外繰入金は、実質的には財源不足を補うための赤字補てん等に充てられている。

基準外繰入金の額が大きい事業は下水道事業の52億99百万円（法適用及び法非適用の合計）で、基準外繰入金全体の80.2%に相当する。

第8表 地方公営企業への他会計繰入金の推移

（単位：百万円、%）

項目	他会計繰入金					対前年度増減率				伸長指数 (H26=100)				
	H26	H27	H28	H29	H30	H27	H28	H29	H30	H27	H28	H29	H30	
法適用	上水道	2,024	1,715	1,665	1,745	1,797	▲ 15.3	▲ 2.9	4.8	3.0	85	82	86	89
	工業用水道	38	45	36	30	30	18.4	▲ 19.3	▲ 15.9	▲ 0.2	118	96	80	80
	病院	1,735	1,493	1,368	1,471	773	▲ 13.9	▲ 8.4	7.5	▲ 47.5	86	79	85	45
	下水道	4,848	4,699	4,910	4,327	6,942	▲ 3.1	4.5	▲ 11.9	60.4	97	101	89	143
	市場	129	236	206	150	140	82.9	▲ 12.3	▲ 27.3	▲ 6.6	183	160	117	109
	小計	8,774	8,187	8,186	7,723	9,682	▲ 6.7	-	▲ 5.7	25.4	93	93	88	110
法非適用	簡易水道	136	139	133	23	17	2.0	▲ 4.5	▲ 82.5	▲ 27.9	102	97	17	12
	下水道	19,665	19,504	19,341	20,089	17,178	▲ 0.8	▲ 0.8	3.9	▲ 14.5	99	98	102	87
	市場	455	455	437	231	49	0.1	▲ 3.9	▲ 47.2	▲ 78.8	100	96	51	11
	と畜場	48	46	46	45	49	▲ 3.9	▲ 0.5	▲ 2.0	9.4	96	96	94	102
	観光施設	43	53	56	76	50	23.2	4.8	36.4	▲ 34.5	123	129	176	115
	宅地造成	1,510	746	904	647	377	▲ 50.6	21.2	▲ 28.4	▲ 41.7	49	60	43	25
	駐車場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	介護サービス	52	65	51	50	37	25.6	▲ 21.2	▲ 3.4	▲ 25.7	126	99	96	71
	電気	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	小計	21,910	21,009	20,969	21,162	17,758	▲ 4.1	▲ 0.2	0.9	▲ 16.1	96	96	97	81
合計	30,684	29,196	29,154	28,885	27,440	▲ 4.8	▲ 0.1	▲ 0.9	▲ 5.0	95	95	94	89	

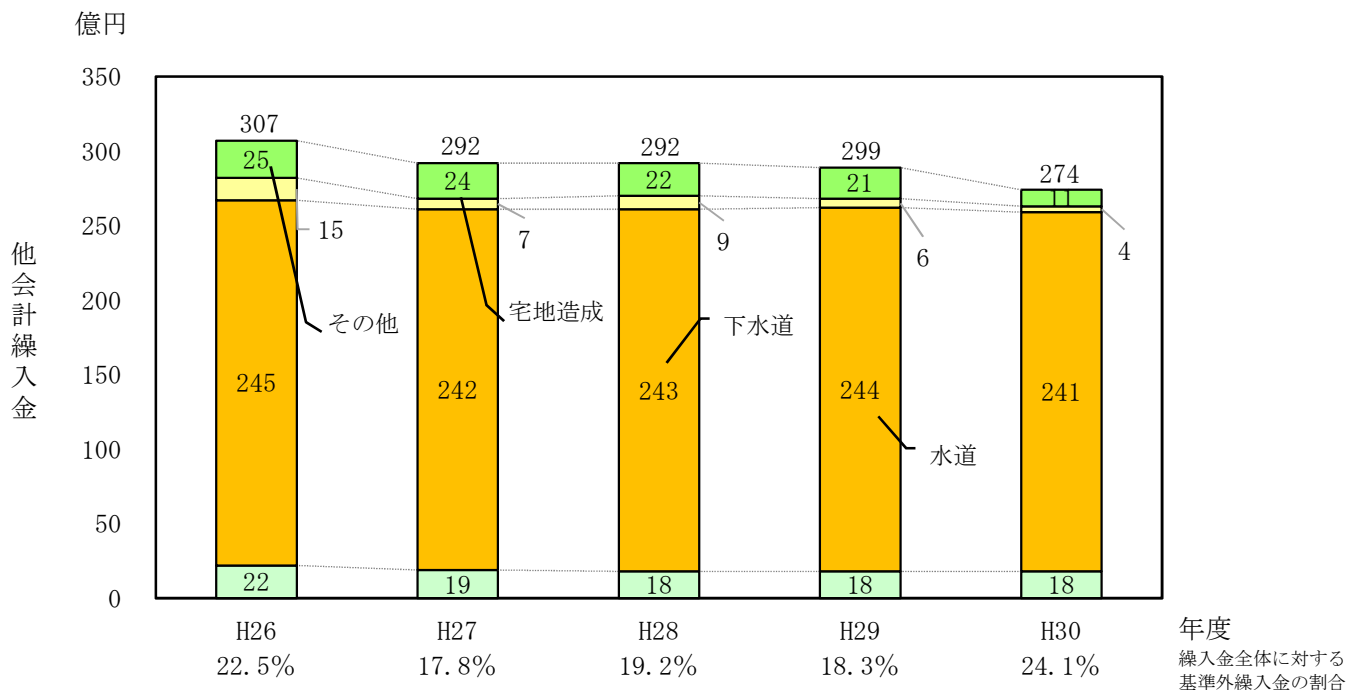
（注）下水道事業の他会計繰入金には、雨水処理負担金が含まれている。

第9表 他会計繰入金の内訳

(単位：百万円、%)

項 目	収益的収入			資本的収入			他会計繰入金合計			基準外繰入金の割合 B/A	
	計	基準内繰入金	基準外繰入金	計	基準内繰入金	基準外繰入金	計 A	基準内繰入金	基準外繰入金 B		
法適用	上水道	585	321	265	1,212	876	336	1,797	1,196	601	33.4
	工業用水道	9	—	9	21	—	21	30	—	30	100.0
	病院	468	453	15	305	234	71	773	686	86	11.2
	下水道	5,318	3,838	1,479	1,625	306	1,318	6,942	4,145	2,797	40.3
	市場	86	40	45	55	55	—	140	95	45	32.4
	小計	6,466	4,652	1,814	3,216	1,470	1,746	9,682	6,122	3,560	36.8
法非適用	簡易水道	2	2	—	15	15	—	17	17	—	—
	下水道	14,301	13,386	915	2,877	1,290	1,587	17,178	14,676	2,502	14.6
	市場	23	4	19	26	13	13	49	17	32	64.6
	と畜場	38	—	38	12	—	12	49	—	49	100.0
	観光施設	50	—	50	—	—	—	50	—	50	100.0
	宅地造成	98	—	98	280	—	280	377	—	377	100.0
	駐車場	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	介護サービス	1	—	1	36	—	36	37	—	37	100.0
	電気	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
小計	14,513	13,392	1,121	3,245	1,318	1,927	17,758	14,710	3,048	17.2	
合 計	20,978	18,044	2,934	6,462	2,788	3,674	27,440	20,832	6,608	24.1	
29年度	22,413	20,739	1,674	6,473	2,805	3,668	28,885	23,544	5,342	18.5	

第9図 他会計繰入金の推移



(注) 水道は上水道及び簡易水道の計、下水道は法適用及び法非適用の計である。

## 7 法適用企業の経営状況

(第10表・第11表・第12表・第13表・第10図・第11図・第12図・第13図)

地方公営企業のうち、地方公営企業法の全部又は財務規定等を適用し、その経理を企業会計方式(複式簿記)で会計処理を行っている事業を法適用企業といい、平成30年度においては前年度から5事業増で36事業であった。法適用企業の決算規模は639億68百万円で、前年度に比べ45億92百万円(7.7%)増加しており、法適用と法非適用を合わせた決算規模全体に占める割合は59.7%となっている。

### 1 損益収支

平成30年度の法適用企業の経常損益は、経常収益(営業収益+営業外収益)が592億87百万円、経常費用(営業費用+営業外費用)が524億11百万円で、差引68億76百万円の黒字となり、前年度に比べ黒字額が67百万円(▲0.6%)減少した。但し、これは一般会計からの基準外繰入金18億14百万円を含んだ損益であり、この基準外繰入金を控除した場合の実質的な経常損益の黒字額は50億62百万円であった。また、経常収支比率は113.1%で、前年度を1.1ポイント下回った。

純損益は68億60百万円で、前年度に比べ34百万円(▲0.5%)減少した。そのうち純利益を生じた事業(黒字事業)は35事業(前年度30事業)、純損失を生じた事業(赤字事業)は1事業(前年度1事業)あり、純損失の内訳は病院事業1事業となっている。

### 2 累積欠損金(当年度未処理欠損金)

平成30年度末の累積欠損金は12億95百万円で、前年度に比べ8億22百万円(38.8%)減少した。累積欠損金を保有する事業は1事業で、内訳は病院事業1事業となっている。

### 3 資本的収支

平成30年度の建設改良費等の資本的支出は359億92百万円で、前年度に比べ32億34百万円(9.9%)増加した。この主な要因は、下水道事業の建設改良費が増加したことである。資本的支出の内訳は、建設改良費が184億96百万円、企業債償還金が174億42百万円等となっている。一方、資本的支出に対する財源は、企業債等の外部資金が123億56百万円で、前年度に比べ28億44百万円(29.9%)増加し、損益勘定留保資金等の内部資金は236億36百万円で、前年度に比べ3億90百万円(1.7%)増加した。

第10表 法適用企業の決算状況の推移

(単位:千円、%)

項 目	H26	H27	H28	H29 (A)	H30 (B)	対前年度比較	
						B-A (C)	C/A
総 収 益 (a)	56,993,627	56,083,765	55,817,312	55,824,275	59,387,176	3,562,901	6.4
経 常 収 益 (b)	55,824,768	55,584,106	55,367,446	55,665,066	59,287,013	3,621,947	6.5
営業(医業)収益 (c)	44,732,099	44,752,779	45,183,665	45,392,323	47,247,431	1,855,108	4.1
うち料金収入	41,714,527	41,652,155	41,880,605	42,203,436	43,855,133	1,651,697	3.9
他会計補助金	4,747,658	4,330,738	3,880,024	4,024,822	5,088,360	1,063,538	26.4
他会計負担金	1,649,373	1,565,899	1,546,769	1,465,845	1,352,325	▲ 113,520	▲ 7.7
国庫県補助金	7,888	248,838	10,978	7,106	21,915	14,809	208.4
長期前受金戻入	5,489,533	5,465,595	5,420,322	5,494,334	6,285,017	790,683	14.4
特 別 利 益 (d)	1,168,859	499,659	449,866	159,209	100,163	▲ 59,046	▲ 37.1
総 費 用 (e)	51,759,861	49,108,662	48,776,267	48,930,672	52,527,377	3,596,705	7.4
経 常 費 用 (f)	48,287,467	48,252,072	48,276,668	48,747,549	52,411,383	3,663,834	7.5
営業(医業)費用	42,431,850	42,793,845	43,236,167	43,866,877	47,970,386	4,103,509	9.4
うち職員給与費	5,136,843	5,153,404	5,153,220	5,064,326	5,246,565	182,239	3.6
うち減価償却費	15,143,718	21,846,700	22,089,118	22,311,970	24,552,035	2,240,065	10.0
支払利息	5,096,908	4,779,363	4,418,251	4,091,889	4,336,907	245,018	6.0
特 別 損 失 (g)	3,472,394	856,590	499,599	183,123	115,994	▲ 67,129	▲ 36.7
経 常 損 益 (b-f)	7,537,301	7,332,034	7,090,778	6,917,517	6,875,630	▲ 41,887	▲ 0.6
経常利益	7,651,115	7,470,382	7,196,614	7,045,378	6,979,494	▲ 65,884	▲ 0.9
経常損失(△) (h)	113,814	138,348	105,846	127,861	103,864	▲ 23,997	▲ 18.8
特 別 損 益 (d-g)	▲ 2,303,535	▲ 356,931	▲ 49,733	▲ 23,914	▲ 15,831	8,083	33.8
純 損 益 (a-e)	5,233,766	6,975,103	7,041,045	6,893,603	6,859,799	▲ 33,804	▲ 0.5
累積欠損金 (i)	1,770,395	1,885,931	1,992,249	2,117,763	1,295,303	▲ 822,460	▲ 38.8
不良債務 (j)	—	—	—	—	—	—	—
経常収支比率 (b/f)	115.6	115.2	114.7	114.2	113.1	▲ 1.1	—
総収支比率 (a/e)	110.1	114.2	114.4	114.1	113.1	▲ 1.0	—
経常損失比率 (h/c)	0.3	0.3	0.2	0.3	0.2	▲ 0.1	—
累積欠損金比率 (i/c)	4.0	4.2	4.4	4.7	2.7	▲ 2.0	—
不良債務比率 (j/c)	—	—	—	—	—	—	—
総 事 業 数	31	31	31	31	36	5	16.1
うち建設中	—	—	—	—	—	—	—
経常損失事業数	2	2	2	2	1	▲ 1	▲ 50.0
累積欠損金保有事業数	3	3	3	2	1	▲ 1	▲ 50.0
不良債務保有事業数	—	—	—	—	—	—	—

- (注) 1. 本表の数値は、建設中の事業を含むものである。  
2. 営業収益は、受託工事収益を除いたものである。  
3. 経常収益＝総収益－特別利益  
4. 経常費用＝総費用－特別損失

第11表 法適用企業の事業別決算状況

(単位：千円、%)

項 目	上水道	工業用水道	病 院	下水道	市 場	全事業
総 収 益 (a)	38,211,145	202,735	2,646,293	17,753,404	573,599	59,387,176
経 常 収 益 (b)	38,173,125	202,735	2,646,293	17,716,364	548,496	59,287,013
営業収益 (c)	34,225,326	184,394	2,286,700	10,097,135	453,876	47,247,431
うち料金収入	32,335,201	179,672	2,068,952	8,896,162	375,146	43,855,133
他会計補助金	451,184	9,458	172,589	4,394,670	60,459	5,088,360
他会計負担金	133,999	—	295,394	922,932	—	1,352,325
国庫県補助金	—	—	3,345	18,570	—	21,915
長期前受金戻入	3,058,480	7,129	14,324	3,171,729	33,355	6,285,017
特 別 利 益 (d)	38,020	—	—	37,040	25,103	100,163
総 費 用 (e)	32,622,882	147,699	2,750,337	16,434,545	571,914	52,527,377
経 常 費 用 (f)	32,548,595	147,699	2,750,157	16,418,263	546,669	52,411,383
営業費用	30,111,779	145,228	2,621,242	14,553,718	538,419	47,970,386
うち職員給与費	2,906,391	17,081	1,533,929	644,229	144,935	5,246,565
うち減価償却費	15,544,121	53,363	153,883	8,702,844	97,824	24,552,035
支払利息	2,412,255	1,880	62,137	1,852,385	8,250	4,336,907
特 別 損 失 (g)	74,287	—	180	16,282	25,245	115,994
経 常 損 益 (b-f)	5,624,530	55,036	▲ 103,864	1,298,101	1,827	6,875,630
経常利益	5,624,530	55,036	—	1,298,101	1,827	6,979,494
経常損失(△)(h)	—	—	103,864	—	—	103,864
特 別 損 益 (d-g)	▲ 36,267	—	▲ 180	20,758	▲ 142	▲ 15,831
純 損 益 (a-e)	5,588,263	55,036	▲ 104,044	1,318,859	1,685	6,859,799
純利益	5,588,263	55,036	—	1,318,859	1,685	6,963,843
純損失(△)	—	—	104,044	—	—	104,044
累積欠損金 (i)	—	—	1,295,303	—	—	1,295,303
不良債務 (j)	—	—	—	—	—	—
経常収支比率 (b/f)	117.3	137.3	96.2	107.9	100.3	113.1
総収支比率 (a/e)	117.1	137.3	96.2	108.0	100.3	113.1
経常損失比率 (h/c)	—	—	4.5	—	—	0.2
累積欠損金比率(i/c)	—	—	56.6	—	—	2.7
不良債務比率 (j/c)	—	—	—	—	—	—
総 事 業 数	23	2	3	7	1	36
うち建設中	—	—	—	—	—	—
経常損失事業数	—	—	1	—	—	1
純損失事業数	—	—	1	—	—	1
累積欠損金保有事業数	—	—	1	—	—	1
不良債務保有事業数	—	—	—	—	—	—
基準外他会計繰入金	264,614	9,458	15,156	1,479,190	45,465	1,813,883
〃 控除後の経常損益	5,359,916	45,578	▲ 119,020	▲ 181,089	▲ 43,638	5,061,747
〃 控除後の純損益	5,323,649	45,578	▲ 119,200	▲ 160,331	▲ 43,780	5,045,916

- (注) 1. 本表の数値は、建設中の事業を含むものである。  
2. 営業収益は、受託工事収益を除いたものである。  
3. 経常収益＝総収益－特別利益  
4. 経常費用＝総費用－特別損失

第12表 法適用企業の資本的収支の推移

(単位：千円、%)

項 目	H26	H27	H28	H29 (A)	H30 (B)	対前年度比較		
						B-A (C)	C/A	
資本的支出	建設改良費	15,661,176	19,040,677	14,302,826	17,328,806	18,495,675	1,166,869	6.7
	企業債償還金	14,368,956	14,775,715	14,927,047	15,184,796	17,441,608	2,256,812	14.9
	他会計借入金返還額	—	—	—	—	—	—	—
	その他	58,341	22,052	324,522	243,810	54,458	▲ 189,352	▲ 77.7
	計	30,088,473	33,838,444	29,554,395	32,757,412	35,991,741	3,234,329	9.9
財源	内部資金	21,977,471	22,720,756	20,808,775	23,245,896	23,635,911	390,015	1.7
	外部資金	8,111,002	11,117,688	8,745,620	9,511,516	12,355,830	2,844,314	29.9
	1. 企業債	4,141,700	6,308,900	4,222,400	5,005,800	5,859,200	853,400	17.0
	2. 他会計繰入金	2,229,423	2,259,523	2,701,400	2,201,898	3,216,398	1,014,500	46.1
	3. 国・県補助金	1,048,585	1,570,601	1,237,616	1,607,775	2,264,833	657,058	40.9
	4. 翌年度繰越財源充当 (△)	—	20,952	24,550	44,970	49,900	4,930	11.0
計	30,088,473	33,730,373	29,554,395	32,757,412	35,991,741	3,234,329	9.9	
財源不足額	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 1. 内部資金＝補てん財源－前年度からの繰越工事資金＋固定資産売却代金

2. 外部資金＝資本的支出額－(内部資金＋財源不足額)

第13表 法適用企業の事業別資本的収支の状況

(単位：千円、%)

項 目	上水道	工業用水道	病院	下水道	市場	全事業	
資本的支出	建設改良費	12,861,507	40,841	173,083	5,400,717	19,527	18,495,675
	企業債償還金	9,300,327	33,973	370,633	7,627,317	109,358	17,441,608
	他会計借入金返還額	—	—	—	—	—	—
	その他	10,072	—	5,460	38,926	—	54,458
	計	22,171,906	74,814	549,176	13,066,960	128,885	35,991,741
財源	内部資金	16,399,648	54,005	115,334	6,992,717	74,207	23,635,911
	外部資金	5,772,258	20,809	433,842	6,074,243	54,678	12,355,830
	1. 企業債	3,191,700	—	124,800	2,542,700	—	5,859,200
	2. 他会計繰入金	1,211,642	20,809	304,702	1,624,567	54,678	3,216,398
	3. 国・県補助金	540,607	—	700	1,723,526	—	2,264,833
	4. 翌年度繰越財源充当 (△)	—	—	—	49,900	—	49,900
計	22,171,906	74,814	549,176	13,066,960	128,885	35,991,741	
財源不足額	—	—	—	—	—	—	

(注) 1. 内部資金＝補てん財源－前年度からの繰越工事資金＋固定資産売却代金

2. 外部資金＝資本的支出額－(内部資金＋財源不足額)

## 8 法非適用企業の経営状況

(第14表・第15表・第10図・第11図・第12図・第13図)

地方公営企業法の規定を適用していない事業で、地方財政法第6条の規定に基づき、その経理に特別会計を設けて官庁会計方式（単式簿記）で会計処理を行っている事業を法非適用企業といい、平成30年度においては、76事業（前年度比▲8事業）であった。法非適用企業の決算規模は431億13百万円で、前年度に比べ91億89百万円（▲17.6%）減少した。

### 1 収益的収支

平成30年度の法非適用企業の収益的収支は、総収益は281億32百万円で、前年度に比べ73億49百万円（▲20.7%）減少した。一方、総費用は146億09百万円で、前年度に比べ23億02百万円（▲13.6%）減少した。この結果、総収益と総費用との収支差引は135億22百万円の黒字となり、前年度に比べ黒字額は50億47百万円（▲27.2%）減少した。この収支差引を事業別に見ると、下水道事業123億22百万円、宅地造成事業10億94百万円等となっている。但し、これは一般会計からの基準外繰入金11億21百万円を含んだ損益であり、この基準外繰入金を控除した場合の実質的な収支の黒字額は124億01百万円であった。

### 2 資本的収支

平成30年度の資本的収支は、資本的支出が284億74百万円で、前年度に比べ65億21百万円（▲18.6%）減少した。この主な要因は、下水道事業における建設改良費が前年度に比べ15億49百万円（▲14.5%）減少したためである。一方、資本的支出の財源である資本的収入は149億72百万円で、前年度に比べ19億22百万円（▲11.4%）減少し、このうち地方債は79億81百万円、他会計繰入金は32億45百万円であった。この結果、資本的収入と資本的支出の収支差引は135億02百万円の赤字で、前年度に比べ赤字額が45億99百万円（▲25.4%）減少した。また、基準外繰入金19億27百万円を控除した場合の実質的な収支の赤字額は154億29百万円であった。

### 3 実質収支

収益的収支と資本的収支を合算し、これに繰越財源等を調整した実質収支については、前年度に比べ3億37百万円（▲16.1%）減少したが、17億64百万円の黒字であった。一方、基準外繰入金を控除した場合の実質的な収支は12億84百万円の赤字であり、下水道事業38事業、宅地造成事業6事業、市場事業4事業、観光施設事業2事業、と畜場事業及び介護サービスで各1事業の合計52事業が実質的な赤字を生じている。

第14表 法非適用企業の決算状況の推移

(単位：千円、%)

項目	H26	H27	H28	H29 (A)	H30 (B)	対前年度比較		
						B-A(C)	C/A	
収益的収支	総収益 (a)	33,774,006	35,168,913	36,100,538	35,480,162	28,131,526	▲ 7,348,636	▲ 20.7
	営業収益 (b)	17,969,933	18,853,078	20,081,154	19,761,771	15,127,559	▲ 4,634,212	▲ 23.5
	うち料金収入	16,130,295	16,847,412	18,063,606	17,448,065	13,181,459	▲ 4,266,606	▲ 24.5
	他会計繰入金	16,806,177	16,920,015	16,952,457	16,891,322	14,512,611	▲ 2,378,711	▲ 14.1
	総費用 (c)	18,024,823	17,635,810	17,299,535	16,912,045	14,609,940	▲ 2,302,105	▲ 13.6
	営業費用	11,669,034	11,708,747	11,768,492	11,862,557	10,478,576	▲ 1,383,981	▲ 11.7
	うち職員給与費	1,192,403	1,202,457	1,275,820	1,229,000	1,094,500	▲ 134,500	▲ 10.9
	支払利息	6,144,147	5,783,243	5,358,076	4,871,679	3,880,590	▲ 991,089	▲ 20.3
収支差引	15,749,183	17,533,103	18,801,003	18,568,117	13,521,586	▲ 5,046,531	▲ 27.2	
資本的収支	資本的収入	23,463,580	18,641,794	18,343,503	16,894,138	14,972,200	▲ 1,921,938	▲ 11.4
	地方債	12,829,500	9,357,900	9,268,700	8,286,300	7,981,050	▲ 305,250	▲ 3.7
	他会計繰入金	5,104,110	4,089,075	4,016,143	4,270,788	3,245,464	▲ 1,025,324	▲ 24.0
	資本的支出	37,920,612	33,705,599	38,451,894	34,995,842	28,474,414	▲ 6,521,428	▲ 18.6
	建設改良費	18,530,680	14,233,714	13,895,952	12,225,066	10,652,103	▲ 1,572,963	▲ 12.9
	地方債償還金 (d)	18,973,553	19,209,033	20,612,932	21,483,321	16,872,744	▲ 4,610,577	▲ 21.5
収支差引	▲ 14,457,032	▲ 15,063,805	▲ 20,108,201	▲ 18,101,704	▲ 13,502,214	4,599,490	25.4	
実質収支	2,521,795	4,906,201	1,920,477	2,101,182	1,763,709	▲ 337,473	▲ 16.1	
黒字	2,521,795	4,906,201	1,920,477	2,101,182	1,746,939	▲ 354,243	▲ 16.9	
赤字 (△) (e)	-	-	-	-	16,770	16,770	皆増	
収益的収支比率 (a)/(c)+(d)	91.3	95.5	95.2	92.4	89.4	▲ 3.0	-	
赤字比率 (e)/(b)	-	-	-	-	0.1	0.1	-	
総事業数	87	86	86	84	76	▲ 8	▲ 9.5	
うち建設中	2	1	-	-	-	-	-	
収益的収支で赤字の事業数	4	3	3	3	3	-	-	
実質収支で赤字の事業数	-	-	-	-	1	1	-	

(注) 1 本表の数値は、建設中の事業を含むものである。

2 営業収益は、受託工事収益を除いたものである。



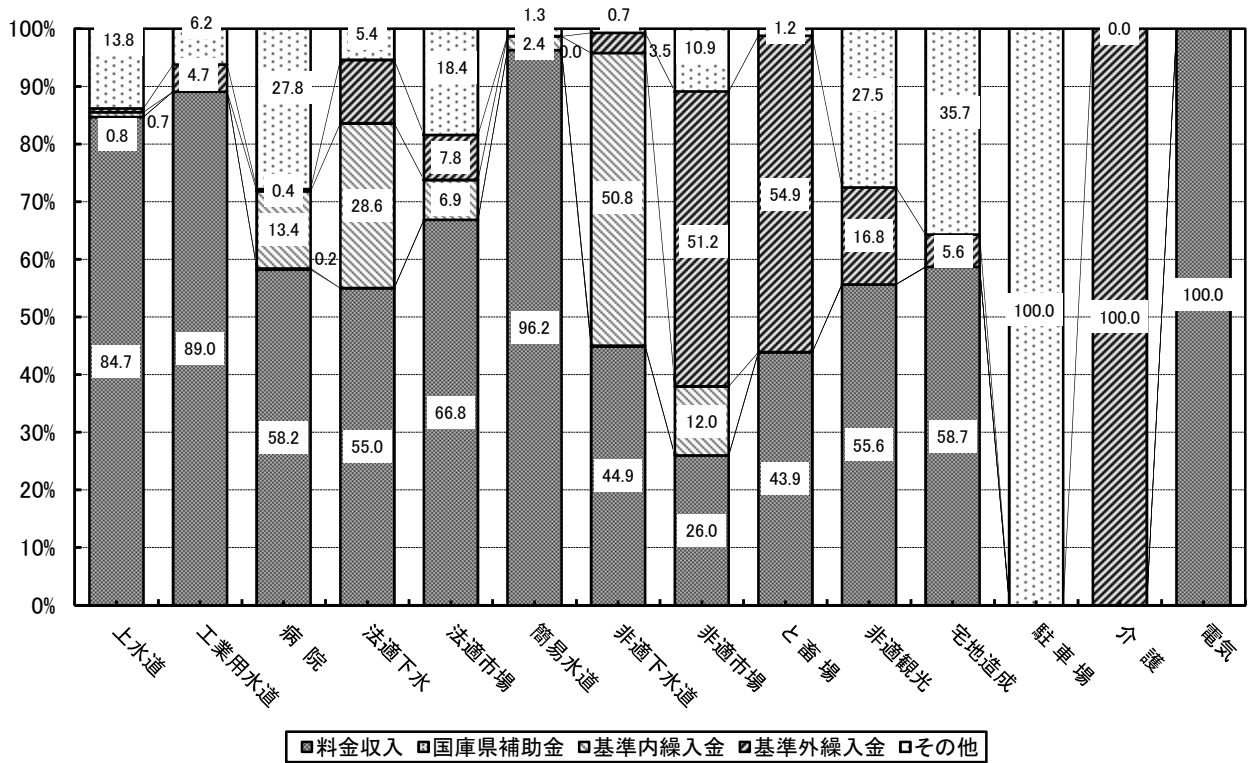
第15表 法非適用企業の決算状況の推移

(単位：千円、%)

項目	簡易水道	公共下水道	特環下水道	農業集落	特地生活	下水道	市場	と畜場	観光施設	宅地造成	駐車場	介護サービス	電気	合計	
収益的収入	総収益 (a)	75,063	20,935,628	1,484,079	3,761,064	150,348	26,331,119	36,575	68,714	298,007	1,120,239	143,214	1,301	57,294	28,131,526
	営業収益 (b)	73,098	12,227,179	473,829	839,100	83,342	13,623,450	9,492	31,009	168,227	1,021,781	143,208		57,294	15,127,559
	うち料金収入	72,264	10,431,077	471,529	838,564	83,340	11,824,510	9,492	30,184	165,934	1,021,781			57,294	13,181,459
	国庫県補助金		23,031	9,339	2,000		34,370								34,370
収益的支出	他会計繰入金	1,791	10,319,505	1,001,059	2,913,637	66,779	14,300,980	23,101	37,702	50,042	97,694		1,301		14,512,611
	総費用 (c)	42,984	11,173,398	797,374	1,886,983	124,145	13,981,900	36,960	64,652	277,770	54,427	98,858	1,301	51,088	14,609,940
	営業費用	37,479	7,922,474	547,603	1,291,012	109,529	9,870,618	36,420	64,502	272,724	52,678	94,486		49,669	10,478,576
	うち職員給与費	8,780	867,501	36,932	115,225	13,615	1,033,273		12,975	30,949	8,523				1,094,500
資本的収入	支払利息	3,584	3,067,234	238,827	553,590	13,198	3,872,849	540	150	417	1,749		1,301		3,880,590
	収支差引	32,079	9,762,230	686,705	1,874,081	26,203	12,349,219	▲ 385	4,062	20,237	1,065,812	44,356		6,206	13,521,586
	資本的収入	15,004	12,148,612	1,075,752	407,181	72,761	13,704,306	54,251	11,708	137	1,151,168		35,619	7	14,972,200
	地方債		6,456,933	565,417	34,200	26,800	7,083,350	28,300			869,400				7,981,050
資本的支出	国庫県補助金		2,725,456	268,270	20,345		3,014,071				1,976				3,016,047
	他会計繰入金	15,004	2,336,431	176,725	323,483	40,816	2,877,455	25,951	11,708		279,727		35,619		3,245,464
	資本的支出	34,242	21,961,785	1,747,487	2,217,773	98,792	26,025,837	54,959	11,707	23,917	2,245,239	42,887	35,619	7	28,474,414
	建設改良費	4,234	8,011,483	931,930	117,569	70,159	9,131,141	29,008		17,034	1,445,774	24,912			10,652,103
資本的支出	地方債償還金 (d)	30,008	13,863,308	806,450	2,056,425	28,633	16,754,816	25,951	11,707	6,883	7,760		35,619		16,872,744
	収支差引	▲ 19,238	▲ 9,813,173	▲ 671,735	▲ 1,810,592	▲ 26,031	▲ 12,321,531	▲ 708	1	▲ 23,780	▲ 1,094,071	▲ 42,887			▲ 13,502,214
実質収支	26,294	1,278,884	33,638	284,049	1,386	1,597,957	10,488	25,947	25,612	66,366	4,839		6,206	1,763,709	
黒字	26,294	1,262,114	33,638	284,049	1,386	1,581,187	10,488	25,947	25,612	66,366	4,839		6,206	1,746,939	
赤字 (△) (e)		16,770				16,770								16,770	
収益的収支比率 (a)/(c)+(d)	102.8	83.6	92.5	95.4	98.4	85.7	58.1	90.0	104.7	1,801.4	144.9	3.5	112.1	89.4	
赤字比率 (e)/(b)		0.1												0.1	
総事業数	1	21	11	19	2	53	5	1	3	10	1	1	1	76	
うち建設中															
収益的収支で赤字の事業数							2		1					3	
実質収支で赤字の事業数		1				1								1	
基準外他会計繰入金(収益的)		308,859	100,337	482,875	22,990	915,061	18,717	37,702	50,042	97,694		1,301		1,120,517	
基準外他会計繰入金(資本的)		1,325,687	150,297	70,397	40,816	1,587,197	12,976	11,708		279,727		35,619		1,927,227	
基準外他会計繰入金(計)		1,634,546	250,634	553,272	63,806	2,502,258	31,693	49,410	50,042	377,421		36,920		3,047,744	
〃 控除後の収益的収支	32,079	9,453,371	586,368	1,391,206	3,213	11,434,158	▲ 19,102	▲ 33,640	▲ 29,805	968,118	44,356	▲ 1,301	6,206	12,401,069	
〃 控除後の資本的収支	▲ 19,238	▲ 11,138,860	▲ 822,032	▲ 1,880,989	▲ 66,847	▲ 13,908,728	▲ 13,684	▲ 11,707	▲ 23,780	▲ 1,373,798	▲ 42,887	▲ 35,619		▲ 15,429,441	
〃 控除後の実質収支	26,294	▲ 355,662	▲ 216,996	▲ 269,223	▲ 62,420	▲ 904,301	▲ 21,205	▲ 23,463	▲ 24,430	▲ 311,055	4,839	▲ 36,920	6,206	▲ 1,284,035	

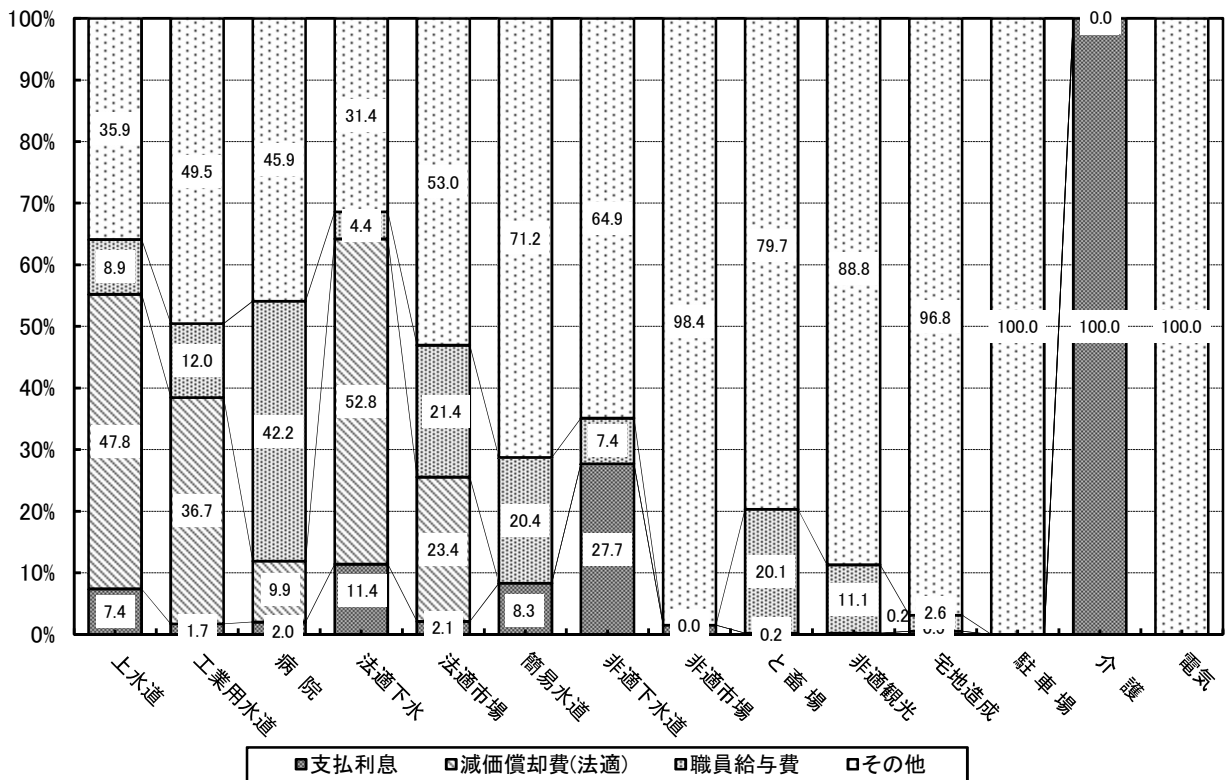
(注) 1. 営業収益は、受託工事収益を含まない。  
2. 下水道事業の他会計繰入金は雨水処理負担金を含む。

第10図 収益的収入の構成割合



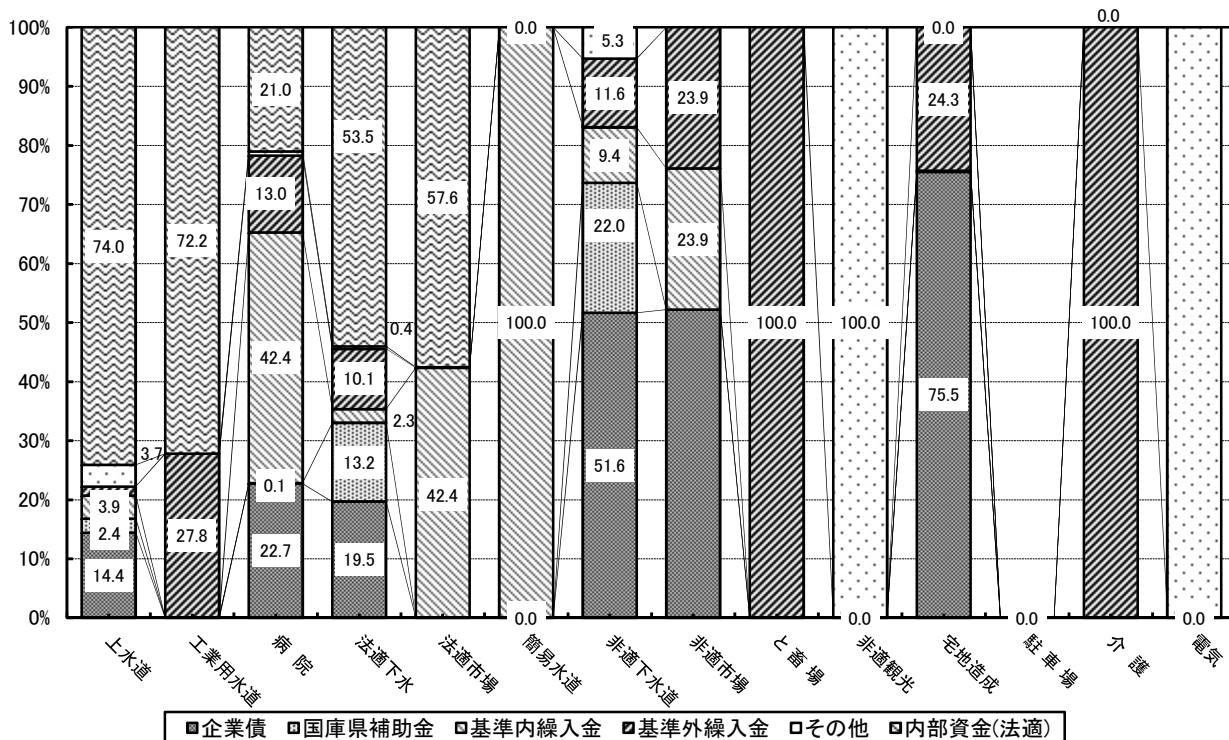
(注) 法適用企業の収益的収入は経常収益、法非適用企業の収益的収入は総収益とした。

第11図 収益的支出の構成割合



(注) 法適用企業の収益的支出は経常費用、法非適用企業の収益的支出は総支出とした。

第12図 資本的収入の構成割合



第13図 資本的支出の構成割合

